

イマージョンって？

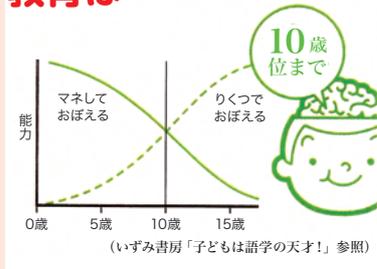
What is immersion ?

御影インターナショナルこども園において展開する特色あるプログラムに、英語イマージョンプログラムがあります。このイマージョンという言葉は、あまり聞きなれない言葉です。

ここでは、「イマージョンって何?」「どんな効果があるの?」に御影インターナショナルこども園が導入する、関連グループ校の英数学館小学校の英語イマージョンプログラムでお応えします。

早期イマージョン教育はなぜ必要か？

生きた英語を身につけるためには、幼児・児童期が大切。語学は理屈よりもマネをして覚える側面が多いため、10歳以前に始めるべき。
(セオドール・アンダーソン)



イマージョン || 『浸すこと』



イマージョンプログラムは、1960年代にカナダのケベック州を中心にフランス語のイマージョンが行われたことがはじまりです。

イマージョンとは、英語のimmerse (浸す) が語源で、「その言語に浸りきって学ぶ」という意味です。

第二言語習得 (Second Language Acquisition) SLAの中では最も有効な教授法として世界で認められ、幅広く知られています。

- ◎40年以上前から行われている、第二言語を習得するためのプログラム
- ◎「英語を」学ぶのではなく「英語で」学ぶ
- ◎通常のこども園と同様のカリキュラム
- ◎英語で学習する概念は、日本語で学習する概念と同じ

3歳児在園保護者メッセージ

質問

- ①半年通ってのお子さんの変化
- ②「御影インターナショナルこども園」を一言で言うと
- ③イマージョンプログラムに関心のある保護者へ一言



回答③

- ①言葉に関心が広がった。
- ②新設の園舎で英語を学べる。
- ③英語だけでなく、日本人として大切なことを学べます。

回答①

- ①とにかく英語の発音が良い。
- ②子どもが多くの事を吸収できる環境。
- ③園での生活の中で英語に親しむので、英語が「身近」です。

回答②

- ①日常生活でも目に触れる英語に反応している。
- ②英語に浸って身に付く環境。
- ③英語が生活の一部になっているので、週一回のお稽古では見られないような効果があります。



回答④

- ①家庭で英語のプログラムを実施しているが、復習している感じで効果がある。
- ②これからみんなで作っていく環境。
- ③外国人の子どもも日本の文化を学んでいます。

外国人保護者のコメント

楽しいアクティビティや遊びの中で学べる経験や、日本語の単語が覚えられることをうれしく感じています。

外国人保護者のコメント

年齢に合った教育だけでなく、日本の生活習慣のケアもしてもらえて安心してまかせられます。何より子どもが喜んで通っていることで信頼を感じています。





Q 幼児期からのイマージョンプログラムは、子どもにとって必要でしょうか。

A グローバル化が急速に進む現在、将来お子さまが国際社会で活躍する土台として、英語コミュニケーション能力が不可欠な時代です。現在、企業が求めている英語力は「TOEIC 600点」。こうした英語力は、幼児・児童期といった早い段階から抵抗なく英語に触れることで、自然に身につけていくことができます。また、本園の英語イマージョンプログラムでは、単に語学としての英語を習得するだけでなく、コミュニケーション能力、主体的に考え行動する力、異文化を理解しその価値観などの基盤を学ぶなど、将来必要とされるグローバルな感覚を、自然に身につけることができます。児童期からこうした環境で学ぶことで、お子さまが将来就職する際の有利さや可能性は、大きく広がります。保護者の皆様が、お子さまに国際性を身につけさせることに対してどこまで取り組むのか、英語の重要性をどの程度大切とお考えになるかが重要となります。

Q 3歳児で、日本語もたどたどしいのですが、英語イマージョンプログラムは大丈夫ですか？日本語の発達に支障となるのでは…？と不安です。

A 園外で日本語の環境にあって、保護者が日本語を話す家庭であれば、子どもの日本語の成長が英語イマージョンの中で妨げられることはありません。早期イマージョンでは、日本語習得と英語習得の2つの回路ができ、それらは混ざり合わないからです。本園では道徳教育、石井式の漢字教育もしっかりと実施していきますので、何の心配もありません。幼児期のお子さまの脳はまるでスポンジのようにいろんな事が吸収できます。この時期は英語・日本語両言語を習得するのに最適な時期です。

Q 3歳児からイマージョンプログラムが展開されていますが、4歳児から入園して大丈夫ですか？

A はい、イマージョンプログラムだからこそ大丈夫です。本園の英語イマージョンプログラムは、単純に単語を暗唱したり、文法を教えたりするものではありません。日々の遊びや活動を英語で行い、保育の環境を英語にすることにより、できる限り自然な状況で英語を習得してゆくものです。また、プログラム内容の作成を担当するイマージョン・ディレクターがその時々のカラームの状況に応じた内容をその都度作成します。さらにクラスでは英語担当教員と日本人保育士がペアで保育に当たります。日本人保育士が園児の様子を常に確認しながらケアしますので、心配はありません。